

総務大臣 樽床伸二殿

2012年11月13日
日本共産党松戸市委員会
日本共産党松戸災害対策部長
みわ 由美
日本共産党松戸市議団

松戸市立病院移転・建て替えへの財政支援と
東松戸病院の現地での存続・充実の要望

松戸市立病院は、老朽化などにより、現地建て替えか、移転して建て替えるかの論議が行われてきました。この9月市議会で現市立病院に隣接した千駄堀地区への移転・建て替えのための一部予算が可決し、建て替えに向けて大きく動きだしました。

松戸市立病院は、第三次救急医療、小児・周産期医療、災害拠点病院など、千葉県の東葛北部医療圏の中核病院としての役割を果たしてきており、1日も早い新病院の建設が市民に強く望まれています。

しかし、政策医療を余儀なくされているため、これまで「赤字経営」を余儀なくされてきました。そこで、地域医療の要としての役割を果たしている自治体病院への財政支援と医師や看護師確保対策、地域に根ざして慢性期医療やリハビリなどで大きな役割を果たしている東松戸病院への財政支援など、下記事項について強く要望いたします。

記

1. 松戸市立病院の政策医療への財政支援の強化と建て替えに対する補助の増額を願います。
2. 医師・看護師対策を抜本的に強化してください。
3. 東松戸病院は、現地高塚新田に存続・充実してください。移転や統廃合は東部地域が医療過疎となり、地域に住む住民の命と健康にとって重大なことになります。

以上